



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和5年(2023年)4月6日
国立市立国立第二小学校
校長 内田 辰彦

つづく つながる 夢を育てる学び舎

校長 内田 辰彦

4月1日付けで国立第二小学校 校長を拝命しました内田辰彦です。第16代校長の小林理人先生の後を引き継ぎます。前任校は国立第八小学校です。本校のすぐ近くの学校から異動してきました。今年を私を含め、多くの教職員が本校に異動・着任しています。昨年度までお世話になっていた教職員と共に一丸となって、本校の教育の充実に向けて尽力してまいります。

本校の学校だよりの題名には「つづく つながる 夢を育てる学び舎」という言葉が掲げられています。これまでの本校の教育実践を端的に表す言葉だと感じていますが、今年度は正にこの言葉の通りのプロジェクトが始まります。校舎の改築計画がいよいよ本格的にスタートします。

二小には長年にわたって使ってきた校舎や体育館、プール、校庭など大切な施設があります。一つ一つの場所にたくさんの思い出があり、たくさんの思いが込められています。開校当時に地域の方、子供たち、教職員みんなで力を合わせて作った施設もあります。PTAのご協力で作っていただいた施設もあります。大切に育ててきた樹木や芝生もあります。校舎内のいたるところに思い出がちりばめられていると感じています。

考えてみると、その一つ一つには、その時代その時代の二小の子供たちが大切にしたり心を込めたりして使ってきた歴史があります。その歴史は今年も、そしてこれからも続いていくはずで。また、そうした活動は、子供たちだけでなく、保護者の方や地域の方を巻き込んで広がっていくと思います。

小林校長先生との引継ぎのときに、子供たちが取り組んでいる活動の一つを紹介していただきました。それは、2年ほど前から行っている植物の命をつなぐ活動です。校庭にたくさんある桜を接ぎ木して、新しい苗をつくり今ある桜の思い出をつないでいく活動です。厳しい寒さを乗り切って、子供たちが育てた苗は力強く芽吹いています。また、秋にたくさんの実がなることを楽しみにしているブドウの樹も接ぎ木をして苗を育てています。こちらも春になってしっかりと芽吹いてきました。毎日使っている校庭の芝生も、エアレーション作業で出された小さな苗を使って芝生を広げたり、育成用の畑で苗を育てたりしています。

こういった活動を通して、二小の歴史を引き継ぎ、未来に向かって次の二小を創っていく意識を子供たちに育てていると感じました。

4月10日から、4年間にわたる長い工事が本格的にスタートします。子供たちは新しい校舎で学べることを心待ちにしています。計画通りに工事が進めば、新5年生は6年生の3学期に新しい校舎を使うことが出来ます。

長い工事になり、その間近隣の方には工事にかかる様々なご不便をおかけすることになり、たいへん申し訳なく思っております。また、学校生活を継続させながら工事を進めるため、保護者の方には、子供たちの安全についても大変ご心配をおかけしていると思います。どうぞ、夢を育てる学び舎を創っていくために、大勢の皆様のご理解とご協力を賜りますように、よろしくお願いいたします。そして、「つづく つながる 夢を育てる学び舎」を皆様と共につくっていきたくと決意しています。

